



## ホストタウン功労者表彰

ホストタウンの取組に特に顕著な功績のあった個人・団体に対し、東京オリパラ担当大臣から感謝状が贈られる「ホストタウン功労者表彰」に、本市から3団体の表彰が決定しました。

### 【被表彰団体】

- ・ホストタウン舞鶴市民応援団
- ・学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校
- ・南福祉協議会

11月26日(金)、市役所で感謝状の交付式が行われ、多々見市長から感謝状をお渡しいたしました。  
受表彰者の皆さん、おめでとうございます！



## 舞鶴市ふるさと納税 for ウズベキスタン

舞鶴市では、ふるさと納税制度による寄付金を活用し、ウズベキスタン共和国の発展に寄与する「産業技術」「介護福祉」「農業」分野の人材育成協力事業を推進しています。

### 【寄付金の使い道】

- (1) 近畿職業能力開発大学校京都校への留学支援
  - ・来日渡航費及び入学準備金15万円の支給
  - ・生活費 月額1.5万円の支給
- (2) 市内介護施設就労者への就労支援
  - ・来日渡航費及び就職準備金15万円の支給

寄付金の使い道については、今後更に拡大する予定です。

お問い合わせはこちらまで  
舞鶴市役所 国際交流課  
Tel: 0773-66-1037  
E-mail: minato@city.maizuru.lg.jp



## ウズベキスタン柔道代表選手団のオリンピック事前合宿を実施

東京2020オリンピック・パラリンピックが実施され、選手たちの躍動は日本中に大きな感動をもたらしました。

本市においても、ホストタウン事業の集大成として、ウズベキスタンの柔道代表選手団(29名)の事前合宿(7/12(月)～19(月))を受け入れ、市民との直接的な交流が禁止されるなどの様々な制約がある中で、選手団にとって安心、安全な合宿となるよう関係機関のご協力をいただきながら工夫を凝らして実施し、選手団から男子90kg級のダヴラト・ボボノフ選手が銅メダルを獲得されるなど事前合宿も成功裏に終了いたしました。

このようなホストタウン事業の取組が評価され、功労者表彰として、①舞鶴市民応援団、②日星高等学校、③南福祉協議会の3団体に、東京オリパラ担当大臣から感謝状が贈られました。

今回の通信では、事前合宿での選手団の様子や功労者表彰、さらに新たな分野として取り組んでいる人材育成協力事業についてご紹介いたしますのでご覧ください。

舞鶴市ホストタウン推進事業実行委員会



# ウズベキスタン柔道代表選手団 事前合宿の記録

## ● 選手団が舞鶴に到着!

7月12日(月)、成田空港に到着した選手団一行は、貸切バスで舞鶴へ。7月13日(火)の午前2時20分頃に市内の宿泊ホテルに到着しました。

ホテル前では、市職員や関係者約30名が「舞鶴へようこそ。」とウズベク語で書かれた横断幕を掲げて歓迎。

ウズベキスタンからの長旅にも選手は疲れた様子を見せず、笑顔で手を振って応えていました。



舞鶴に到着した選手団一行

## ● 選手団をセレモニーで歓迎!

7月14日(水)、コロナ対策を徹底した上で歓迎セレモニーを実施しました。

セレモニーでは、選手1人1人の紹介・入場から始まり、市内小中高校生の合唱団によるウズベキスタン国歌斉唱動画の放映や日星高校チアリーディング部による歓迎パフォーマンスの実演などを行いました。

選手団は、立ち上がって拍手を送ったり、セレモニーの様子を撮影したりするなど、終始リラックスして楽しんでいました。



セレモニーの様子

## ● 世界最高峰～現役オリンピックの練習!!

選手団が最高の環境で調整が出来るよう、文化公園体育館のアリーナに国際基準を満たした柔道畳を設置しました。

走り込み等の減量を目的とした練習やコーチとの技の確認、代表選手の本格的な乱取りが行われ、背負い投げや払い腰など「これぞ現役オリンピック!」という豪快で華麗な技の数々が見られました。

練習の合間には、リフレッシュのためフットサルやバレーボールに興じる姿もあり、オンとオフを分けた練習メニューをこなしていました。

2004年のアテネオリンピック柔道金メダリストのイリアディス・イリアスヘッドコーチからは、「選手は最高のコンディションで練習ができています。」とのコメントをいただきました。



## ● 園児が選手団にエール!

7月15日(木)、練習会場とホテルの往復に行動が制限された選手団を応援しようと、昭光保育園の園児約40人が練習帰りの選手団一行を乗せたバスに向かって園内から大きな声援を送りました。

この日のために、園児は選手団へのメッセージや絵を描いた横断幕を作り、ベランダに設置。先生の合図に合わせて「オルガ、オルガ、ウズベキスタン!」と元気な声を選手に届けました。

選手団はバスから「ありがとう〜!」と手を振って笑顔で応え、たくさん写真を撮っていました。

後日、女子52kg級のケリディヨロヴァ・ディヨラ選手から、「園児の応援で気持ちが盛り上がりました。オリンピックでがんばります。」と力強いコメントをいただきました。



## ● いざ、オリンピックの大舞台へ!

7月19日(月)、市民や市職員約200人が参加し、市役所庁舎前でオリンピックの地に向かう選手団一行の出発式を行いました。

滞在期間中に新型コロナウイルスの感染者を出すことなく無事に合宿を終えたことに多々見市長は、「選手団が順調に練習できたことに安堵の気持ちでいっぱいです。選手の努力が実るよう市民みんなで応援しています。」と激励し、ウズベキスタン柔道連盟のカミロフ会長は「とても良い環境でしっかりと準備ができました。舞鶴の皆さんの温かい歓迎に感謝します。」とお礼を述べられました。



## 柔道男子90kg級代表 ダヴラト・ボボノフ選手 銅メダルを獲得!

ボボノフ選手は、3回戦で惜しくも敗退しましたが、その後の敗者復活戦を勝ち上がり、3位決定戦ではトルコの選手に体落による1本勝ちを収め、見事銅メダルに輝きました。メダル獲得後には、ボボノフ選手から市民へのお礼のメッセージ動画が届きました。



©2021ウズベキスタンオリンピック委員会